

所属	看護学部／臨床看護学系	職名	准教授	氏名	宮園 真美
----	-------------	----	-----	----	-------

1. 教員紹介・主な研究分野

平成 26 年度より当大学に就任した。主な研究テーマは、地域療養者の QOL 向上とソーシャルサポート活用、温熱刺激を活用した看護介入、がん看護研究である。がんプロフェッショナル養成に関わる教育にも携わっている。

2. 研究業績

①最近の著書・論文

- ・ A Nationwide Cross-Sectional Study on Congenital Heart Diseases and Symptoms of Sleep-disordered Breathing among Japanese Down's Syndrome People, Hiroyuki Sawatari, Akiko Chishaki, Mari Nishizaka, Fumio Matsuoka, Chikara Yoshimura, Hiromi Kuroda, Anita Rahmawati, Nobuko Hashiguchi, Mami Miyazono, Junji Ono, Tomoko Ohkusa, Shin-ichi Ando, Internal Medicine vol.54 pp. 1003-1008 May2015
- ・ Influence of primary and secondary prevention indications on anxiety about the implantable cardioverter-defibrillator, Anita Rahmawati, Akiko Chishaki, Tomoko Ohkusa, Hiroyuki Sawatari, Miyuki Tsuchihashi-Makaya,, Yuko Ohtsuka, Mori Nakai, Mami Miyazono, Nobuko Hashiguchi, Harumizu Sakurada, Masao Takemoto, Yasushi Mukai,Shujiro Inoue, Kenji Sunagawa, Hiroaki Chishaki, Journal of Arrhythmia Accepted 5 October 2015
- ・ Health-related quality of life in patients with lower rectal cancer after sphincter-saving surgery: a prospective 6-month follow-up study, Y. KINOSHITA, K.M. NOKES, R. KAWAMOTO, M. KANAOKA, M. MIYAZONO, H. NAKAO, A.CHISHAKI, R. MIBU, European Journal of Cancer Care, Accepted 14 October 2015
- ・ 病院から地域へのシームレスなケア構築を目指して 植込み型除細動器患者の現状とメンタルケアの必要性, 宮園真美, Nursing Business, 2014 年 5 月号
- ・ Gender Disparities in Quality of Life and Psychological Disturbance in Patients With Implantable Cardioverter-Defibrillators, Anita Rahmawani, Akiko Suyama Chishaki, Hiroyuki Sawatari, Miyuki Tsushihashi-Makaya, Yuko Ohtsuka, Mori Nakai, Mami miyazono, Nobuko Hashiguchi, Harumizu Sakurada, Masao Takemoto, Yasushi Mukai, Inoue Shujiro, Kenji Sunagawa, Hiroyuki ChishakiCirculation Journal Vol.77,No5, 2013.6.22
- ・ 循環器ナースのための！ガイドライン読解塾～ガイドラインを理解し、看護支援に活かす～心臓突然死の予知と予防法のガイドライン, 宮園真美, Heart, 2013 年 2 月
- ・ 下部直腸がんに対し内肛門括約筋部分切除を受けた後の Quality of Life の変化が顕著であった対象の事例研究, 木下由美子, 川本利恵子, 樗木晶子, 宮園真美, 金岡麻希, 富岡明子, 孫田千恵, 潮みゆき, 中尾久子, 壬生隆一, インターナショナル Nursing Care Research 第 12 巻 第 4 号, 2013 年

②その他最近の業績

<学会発表>

- ・ 自宅で生活を送るがんサバイバーが感じる情緒的支援と、対処行動・心理的適応との関連, 西坂恵子, 村田節子, 宮園真美, 第 30 回日本がん看護学会学術集会, 2016.2.20
- ・ 経口抗がん剤治療中の大腸がん患者における服薬アドヒアランスとセルフケア能力の関連, 永松有紀, 鍋島直美, 中山善文, 皆川紀剛, 菊田志保, 篠原義剛, 豊福佳代, 宮園真美, 佐藤実, 樗木晶子, 第 30 回日本がん看護学会学術集会, 2016.2.20
- ・ 胃切除後 2 週間のセルフケア能力と身体的・心理的状态の実態調査, 豊福佳代, 永松有紀, 宮園真美, 樗木晶子, 第 30 回日本がん看護学会学術集会, 2016.2.20

- ・ 婦人科疾患開腹術後のイレウス予防看護の取り組み, 柳亜依香, 宮園真美, 山口貞子, 江田桂子, 古賀幸代, 秋野照美, 藤原真希, 下村実奈代, 藤田みのり, 矢幡秀昭 小倉香奈恵, 第30回日本がん看護学会学術集会,2016.2.20
- ・ 植込型除細動器患者の QOL 向上をめざした精神的ケアの構築, 樗木晶子(代 宮園真美),【ファイザーヘルスリサーチ振興財団】第22回HRF,2015.11.28
- ・ 大学病院女性看護師の健康意識行動と東洋医学的未病の関係, 金岡麻希, 木下由美子, 宮園真美, 孫田千恵, 澤渡浩之, 濱田正美, 中畑高子, 樗木晶子, 第35回看護科学学会, 2015.5.3
- ・ 地域で語り合うがんとの向き合い方 ～キャンサー・ナーシング・カフェの取り組み～,村田節子, 宮園真美, 政時和美, 植木昭代, 2015.10.10
- ・ 地域でがんについて語り合う「キャンサー・ナーシング・カフェ」の取り組み ～医療者側スタッフの意識調査～, 宮園真美, 村田節子, 政時和美, 植木昭代, 2015.10.10
- ・ がん患者の「自己概念の“ゆらぎ”」の概念分析, 谷川このみ, 宮園真美, 日本看護研究学会第41回学術集会, 2015.8.22-23
- ・ がんサバイバーの情緒的支援と対処行動, 心理的適応に関する文献的考察, 西坂恵子, 村田節子, 宮園真美, 日本看護研究学会第41回学術集会, 2015.8.22-23
- ・ 大学病院に勤務する看護師の漢方医学への関心と認識に関する実態調査, 金岡麻希, 佐々木圭子, 木下由美子, 伊豆倉理江子, 大草知子, 中畑高子, 濱田正美, 宮園真美, 田原英一, 矢野博美, 井上博喜, 宮田潤子, 貝沼茂三郎, 樗木晶子, 第66回日本東洋医学会, 2015.6.12-14
- ・ 人工膝関節置換術後の積極的肢位調整と排液量の関係・トラネキサム酸使用, ドレーン留置本数の影響を考慮して-, 高橋公一, 秋永和之, 松田美由紀, 宮園真美, 第15回日本運動器看護学会, 2015.6.6
- ・ 人工膝関節置換術後の肢位調整とドレーン排液量・腫脹との関連, 秋永和之, 高橋公一, 松田美由紀, 宮園真美, 第15回日本運動器看護学会, 2015.6.6
- ・ 脚部サウナ継続使用が高齢女性の血管内皮機能, 寒冷感および睡眠状態へ及ぼす影響: 宮園真美, 澤渡浩之, 小野淳二, 橋口暢子, 孫秀英, 三上聡美, 孫田千恵, 豊福佳代, 山崎啓子 伊豆倉理恵子, 大草知子, 栃原裕, 樗木晶子, 第2回看護理工学会, 2014
- ・ 下肢加温療法は睡眠呼吸障害を合併した慢性心不全患者の心機能を改善する: 澤渡浩之, 細川和也, 宮園真美, 西坂麻里, 安藤眞一, 竹本真生, 井上修二郎, 坂本隆史, アニタ・ラハマワティ, 橋口暢子, 樗木浩朗, 大草知子, 砂川賢二, 樗木晶子, 循環器制御学会, 2013
- ・ 睡眠呼吸障害を合併した慢性心不全患者における下肢加温療法による睡眠改善が及ぼす心機能への効果: 澤渡浩之, 細川和也, 宮園真美, 西坂麻里, 安藤眞一, 竹本真生, 井上修二郎, 坂本隆史, アニタ・ラハマワティ, 橋口暢子, 樗木浩朗, 大草知子, 砂川賢二, 樗木晶子, ホルター・ノンインベンシブ心電学研究会, 2013
- ・ Leg Thermal Therapy Improved Cardiac Function in the Patients with Heart Failure and Sleep Disordered Breathing—Novel Analysis of polysomnography—:澤渡浩之, 細川和也, 宮園真美, 西坂麻里, 安藤眞一, 竹本真生, 井上修二郎, 坂本隆史, アニタ・ラハマワティ, 橋口暢子, 樗木浩朗, 大草知子, 砂川賢二, 樗木晶子, 第78回日本循環器学会学術集会, 2013
- ・ 植込み型除細動器(ICD)治療が及ぼす気分障害および心的外傷後ストレス障害(PTSD)における性差: 宮園真美, 眞茅みゆき, 樗木晶子, アニタラハマワティ, 澤渡浩之, 石川勝彦, 宮島健, 大塚祐子, 仲井盛, 櫻田春水, 第7回日本性差医学・医療学会学術集会, 2013
- ・ ダウン症者における睡眠呼吸障害の実態とその発生要因に関する全国調査: 小野淳二, 黒田裕美, 澤渡浩之, 宮園真美, 橋口暢子, 西坂麻里, 安藤眞一, 樗木晶子, 日本看護科学学会, 2013
- ・ 脚部サウナ使用時の 高齢者の生理・心理反応: 宮園真美, 澤渡浩之, 小野淳二, 橋口暢子, 前野有佳里, 木下由美子, 金岡麻希, 梶原弘平, 潮みゆき, 孫田千恵, 中尾久子, 樗木晶子, 日本看護科学学会, 2013

- ・慢性心不全患者における下肢加温療法による不眠の改善：澤渡浩之，宮園真美，西坂麻里，竹本真生，井上修二郎，坂本隆，安藤眞一，アニタ・ラハマワティ，橋口暢子，樗木浩朗，砂川賢二，樗木晶子，第 70 回日本循環器心身医学会総会，2013
- ・心不全患者における遠赤外線下肢加温療法の血行動態および血管内皮機能への効果：澤渡浩之，宮園真美，橋口暢子，樗木晶子，第 1 回日本看護理工学会，2013
- ・脚部サウナによる若年者と高齢者の生理心理反応：宮園真美，第 1 回日本看護理工学会，2013
- ・夏季および冬季室内における高齢者の生理・心理反応に及ぼす除湿・加湿の影響：橋口暢子，宮園真美，澤渡浩之，樗木晶子，第 1 回日本看護理工学会，2013
- ・心疾患を有するダウン症者における眠気と身体的特性に関する検討：小野淳二，澤渡浩之，黒田裕美，宮園真美，橋口暢子，安藤眞一，樗木晶子，第 10 回日本循環器看護学会 学術集会，2013
- ・Leg Thermal Therapy Improved Sleep Structure in Patients with Congestive Heart Disease, Hiroyuki Sawatari, Mami Miyazono, Shin-ichi Ando, Mari Nishizaka, Nobuko Hashiguchi, Anita Rahmawati, Shujiro Inoue, Masao Takemoto, Takafumi Sakamoto, Hiroaki Chishaki, Kenji Sunagawa, Akiko Chishaki., 35th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society, 2013
- ・A Small Device for Topical Leg Warming Improved Vascular Endothelial Function in Patients with Chorionic Heart Failure without Any Harmful Hemodynamic Changes : Hiroyuki Sawatari, Mami Miyazono, Shin-ichi Ando, Mari Nishizaka, Nobuko Hashiguchi, Anita Rahmawati, Shujiro Inoue, Masao Takemoto, Takafumi Sakamoto, Hiroyuki Tsutsui, Daisuke Goto, Tomoo Furumoto, Shintaro Kinugawa, Hiroaki Chishaki, Kenji Sunagawa, Akiko Chishaki., 35th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society, 2013
- ・Cross-sectional general survey on the relationship between congenital heart diseases and sleep disordered breathing in patients with Down syndrome, Hiroyuki Sawatari, Akiko Chishaki, Mari Nishizaka, Fumio Matsuoka, Hiromi Kuroda, Nobuko Hashiguchi, Anita Rahmawati, Junji Ono, Mami Miyazono, Shin-ichi Ando., European Society of Cardiology Congress, 2013
- ・The abnormal sleep postures that are frequently observed in people with Down syndrome indicated high prevalence of the sleep disordered breathing in Japanese cross-sectional studies, Hiroyuki Sawatari, Akiko Chishaki, Hiromi Kuroda, Fumio Matsuoka, Anita Rahmawati, Junji Ono, Nobuko Hashiguchi, Mami Miyazono, Mari Nishizaka, Shin-ichi Ando, SLEEP 2013
- ・Leg thermal therapy improved sleep structure and subjective sleep quality in chronic heart failure : Hiroyuki Sawatari, Mami Miyazono, Mari Nishizaka, Shin-ichi Ando, Kenji Sunagawa, Akiko Chishaki, 5th World Congress on Sleep Medicine, 2013
- ・下肢加温療法は，慢性心不全患者の睡眠を改善する：澤渡浩之，宮園真美，竹本真生，井上修二郎，坂本隆史，西坂麻里，アニタ・ラハマワティ，橋口暢子，安藤眞一，樗木浩朗，砂川賢二，樗木晶子，日本睡眠学会第 38 回定期学術集会，2013
- ・Leg thermal therapy improves sleep quality with amelioration of vascular endothelial function in patients with chronic heart failure : Hiroyuki Sawatari, Mami Miyazono, Nobuko Hashiguchi, Anita Rahmawati, Shujiro Inoue, Masao Takemoto, Mari Nishizaka, Tomomi Ide, Shin-ichi Ando, Hiroaki Chishaki, Kenji Sunagawa, Akiko Chishaki, 第 77 回日本循環器学会学術集会，2013
- ・The first national survey of the relationship between sleep disordered breathing and heart diseases in Down syndrome, Hiroyuki Sawatari, Akiko Chishaki, Hiromi Kuroda,

Fumio Matsuoka, Anita Rahmawati, Junji Ono, Nobuko Hashiguchi, Mami Miyazono, Mari Nishizaka, Shin-ichi Ando, 第77回日本循環器学会学術集会, 2013

- ・ ICD患者のQOLと患者属性との関係：宮園真美，澤渡浩之，橋口暢子，アニタ・ラハマワティ，石川勝彦，竹本真生，向井靖，井上修二郎，砂川賢二，眞茅みゆき，大塚祐子，櫻田春水，仲井盛，樗木浩朗，樗木晶子，第77回日本循環器学会学術集会，2013

③過去の主要業績

- ・ サウナによる生理・心理反応と看護への応用，九州大学（博士論文）2011
- ・ 頸部下ドーム型サウナ使用時の生理・心理反応，人間と生活環境，17巻1号，31-37，2010
- ・ 頸部下ドーム型サウナ使用時の高齢者の生理・心理反応，日本循環器看護学会誌，5巻1号，43-51，2009

3. 外部研究資金

研究責任者

慢性疼痛トリガーポイントへの温熱療法を活用した寝たきり防止看護プログラムの構築，文部科学省学術研究費補助金（基盤C），2015年4月1日～2018年3月31日

研究分担者

- ・ 生活習慣病を有する高齢者における皮膚温度感受性評価と看護ケア開発，文部科学省学術研究費補助金（基盤B），2013年4月1日～2017年3月31日，寄託者：橋口暢子
- ・ 集学的治療を受ける直腸がん患者の外来における看護支援モデルの構築，文部科学省学術研究費補助金（基盤C），2015年4月1日～2018年3月31日，寄託者，木下由美子
- ・ ソーシャルサポートによる喉頭摘出者の心理的・社会的適応の経時的変化と介入効果検証，文部科学省学術研究費補助金（基盤B），2012年4月1日～2015年3月31日，寄託者：
- ・ 市町村保健師の処遇困難事例への支援技術教育プログラムの開発 文部科学省学術研究費補助金（基盤C），2015年4月1日～2019年3月31日，寄託者，前野有佳里
- ・ 睡眠を核とする生活習慣病の予防と改善に向けたヘルスプロモーションの為の基盤構築，文部科学省学術研究費補助金（基盤B），2015年4月1日～2018年3月31日，寄託者：樗木晶子
- ・ 入院患者における睡眠呼吸障害の症状を考慮した転倒リスク評価指標の開発，文部科学省学術研究費補助金（挑戦的萌芽），2014年4月1日～2017年3月31日，寄託者：樗木晶子
- ・ がん患者の意思決定を支える看護者の役割と倫理教育，文部科学省学術研究費補助金（基盤C），2013年4月1日～2017年3月31日

5. 所属学会

日本看護学教育学会，日本看護研究学会，日本看護科学学会，日本循環器病予防学会，日本循環器学会，日本循環器看護学会，日本生理人類学会，人間-生活環境系学会，STTI：Sigma Theta Tau International，日本精神保健看護学会，日本応用心理学会，日本運動器看護学会，日本性差学会

6. 担当授業科目

〈学部〉

成人慢性期看護論・2単位・2年・後期，成人看護実践論・1単位・3年・通年，成人看護実習・4単位・3年・通年，統合実習・2単位・4年・通年，専門看護学ゼミ・2単位・4年・前期，卒業研究・2単位・4年・後期。

〈大学院〉

成人看護学特論・1年・通年，成人看護学演習・1年・通年，がん看護学実習Ⅰ・4単位・2年・前期，がん看護学実習Ⅱ・2単位・2年・前期，課題研究・4単位・1-2年・通年，臨床看護学特別研究・8単位・2年・通年

7. 社会貢献

- ・ 第2回キャンサー・ナーシング・カフェ企画, 開催 (2016.3.5)
- ・ 九州大学病院看護研究指導
(人工関節術後看護, ステロイド療法中小児看護, 婦人科術後イレウスについて)
- ・ 福岡県立大学がん看護勉強会 (1回/2か月 福岡県立大学内)

8. 学外講義・講演

- ・ 福岡県看護協会主催「教員養成講習会」外部講師
- ・ 九州大学病院における現任教育: 臨床指導者講習会 講師
- ・ 関門医療センター看護師教育 (看護研究)

9. 附属研究所の活動等

ヘルスプロモーション実践研究センター兼任研究員